

北海道岩見沢市（所在地：北海道岩見沢市）

事業名 アートアカデミーの開催による障がい者の生涯学習推進事業

主な連携先 市福祉課、市生涯学習・文化・スポーツ振興課、北海道教育大学岩見沢校、北海道アールブリュットネットワーク協議会（ほか）

主な対象 身体・知的・精神

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後の障害者が芸術の鑑賞、創作について学ぶ
- ・北海道教育大学岩見沢校の教員や学生と共同で事業実施
- ・芸術を教わる側から教える側になることで、地域社会の中で役割を持ち、自尊心をもって自分らしく暮らせる社会の実現を目指す

事業実施体制

＜連携協議会構成＞
市福祉課・教育委員会、教育大学岩見沢校、北海道アールブリュットネットワーク協議会、市内特別支援学級教諭、市内アート展実行委員長、北海道社会福祉事業団福祉村、障がい当事者

学習プログラムの内容

- ①芸術鑑賞学習会【市公式YouTubeでオンライン配信（2展示会）】
教育大学岩見沢校の教員・学生らの解説により作品を鑑賞する
- ②創作体験・創作学習会【リアル開催+オンライン配信（全3回）】
様々な画材を使った創作体験会で画材や画法、創作技術を学ぶ
- ③展示技術学習会【リアル開催+オンライン配信（1回）】
額装、展示技術、展示空間の作り方を学ぶ
- ④展示実践学習会【北海道教育大学岩見沢校「森の岩ギャラリー」】
創作した作品の展示会、ボランティアとして学生も参加

研究の成果と課題

- ＜参加者数＞
リアル会場 32名 + オンライン13名 計 45名
- ＜アンケート結果＞
- ・あらかじめオンライン用の映像を用意しておいてほしい
 - ・仕事と勉強が両立できる施設がほしい
 - ・事業所に直接講師や学生が来てくれる場（機会）があれば良い
 - ・周りの理解や関心・協力・支援などが必要
 - ・積極的な情報発信や情報交換なども大切
 - ・このようなイベントが活発に行われていけば良いと思う



創作の様子



zoom配信の様子



展示会の様子

その他研究の詳細など

- ・集中して受講できる時間や理解度は障害によって大きく差がある
- ・オンラインでの創作活動は支援員の負担も大きくなる
- ➡コロナ禍にも対応したプログラム（オンライン）をさらに研究、関係者のネットワークの強化、継続的な学びの機会を創出することで引き続き障害者の生涯学習を支援

市HP→

